



① 軍学堂

当初は通信販売店舗であったが、平成22(2010)年に神保町に店舗をかまえた「軍学堂」。名前の通り軍事・戦争関連の書籍を専門とする古書店。「軍事・戦争の歴史について学びたい、知りたいと思う方々の力になれば」と店主は語る。また戦史以外にも、当時の資料や、兵器、皇室、諜報などに関する書籍も扱っている。戦争に関する書籍の扱いに加えて、「軍学講座」と題した講演会を定期的に主催しており、人気を集めている。

03-3233-7677

千代田区神田神保町1-1 倉田ビル2F



② 叢文閣書店

江戸期から近代までに出版された東洋の歴史書を中心に扱う歴史専門店。陳列方法は時代別ではなく、インドネシア、カンボジア、フィリピン、台湾、韓国、朝鮮、沖縄、北海道など地域別。その地域におけるある時代の風俗や生活の諸相、人びとの思想哲学を詳述した書物が多く、どれも背表紙を見るだけでその年季の入りようが分かる貴重なもの。店主の珍品への追求心や、その結果充実した専門書の棚に引き寄せられ、足しげく通うのは研究者がほとんど。中には、ヨーロッパやアメリカ、韓国など海外からはるばる資料を探し求めて来店する人も。

03-3233-2332

千代田区神田神保町1-9 大雲堂ビル2階



③ 文華堂書店

日清戦争以降の戦争関連書籍を専門に扱う店として、神田でもピカイチの知名度を持つ。店先から店内奥まで戦争関係の本がびっしり置かれ、狭い通路前には本探しに没頭する人びとが折り重なるように並ぶ。戦史をはじめ、武将の伝記、外交史、連隊史、洋書、雑誌のバックナンバーなどがジャンルごとに配列されておりまさに戦争関連書籍の宝庫。時が経ち、最初は軍隊経験者がメインだった客層も広がりを見せ、船、飛行機、戦車など乗り物関連の書籍も充実。架空とはいえ戦争を扱っているからか、アニメのガンダム関連書籍が並んでいることも。

03-3262-0422

千代田区神田神保町2-3-12



④ 永森書店

戦前の古地図や日本の郷土史、植民地史料を含む戦時の史料などを専門に扱う書店。同系統の書籍を扱う秦川堂書店の次男が経営する店で、より安価に、そして旅行案内の小冊子や絵葉書などといった細かいものにも着目している。お値段も手ごろでかさばらず、気軽に手に取ることのできる絵葉書は、それが作られた当時の土地の景色や風俗、流行などを色濃く反映する小さな芸術品である。年に3回発行される目録はカラー写真が多い。ふと見つけた一枚の絵葉書が、懐かしいどこかとの再会、はたまた見知らぬどこかとの出会いになるかもしれない。

03-5213-8010

千代田区一ツ橋2-6-12 上村ビル1F



⑤ 通志堂書店

アジア関係書籍の専門店で中国原書の品揃えに定評がある「通志堂書店」。学術分野は、書誌学、歴史、哲学、文学、考古学、芸術と多岐に渡り、まんべんなく揃えている。研究者からの信頼も厚く、台湾や中国からの留学生にも人気。店舗は看板が出ていないのでややわかりにくく、目印は入り口のガラス窓に貼られた「通志堂書店」の文字のみ。店内は、中国書の古書が満杯に溢れている状態だが、諦めずにぜひ挑戦してみたい。

03-3512-5637

千代田区神田神保町2-2 阿久沢ビル1F



⑥ 内山書店

歴史ある中国専門店。取り扱っているのは、日本で出版された中国関係の書籍、DVD、CDなどが約4割。残りの6割は、中国・香港・台湾などから輸入された書籍、雑貨など。ジャンルは問わずあらゆるものを扱い、新刊がメイン。人気があるのは中国語を勉強する人のための教材。ここには中国の子供たちが実際に使っている教科書や参考書なども揃っている。研究者や学生委よりも、ビジネスマンやカルチャーセンターで中国語を習っている人が本を探しに来ることが多い。専門店ならではのと思わせるのは、中国の地方都市の地図も揃っていることだ。

03-3294-0671

千代田区神田神保町1-15



⑦ 山本書店

明治42年(1909)創業の「山本書店」は、糸とじ本などの古典籍を中心に販売する古書店。特に中国関係と書道を専門とする。漢文で書かれた中国の書籍を漢籍といい、漢籍のなかでも中国で出版されたものを唐本、輸入して日本で翻刻したものを和刻本と呼ぶが、当店は和刻本を扱う日本有数の店。店内はゆったりとしたスペースに書棚や展示用ガラスケースを配置。「ゆくりと陳列し、静かに選書できる」(店主)店づくりも特徴だ。テレビ局からドキュメンタリー制作に必要な資料の依頼や、書道のお手本がほしい、といった相談もあるという。

03-3261-0847

千代田区神田神保町2-7



⑧ 飯島書店

書道関連の古書を扱う専門店として全国に名が知られた存在。壁は書棚で埋め尽くされていて、全集・選集からハウツー本まで書道関連の書籍が詰めこまれている。店内通路中央のガラスケースには、硯で墨をする際の水差しとして用いる「水滴」や、書道界ではテキストとして用いられる法帖、漢代の石碑から写し取った拓本などところ狭しと並ぶ。文化遺産を保護するため、拓本の作成は中国国内で禁止されている例が多く、歴史的にも大変貴重な。奥にある小部屋には、高価な拓本や書家の直筆による掛け軸が展示され、ミニ美術館といった風情。

03-3261-1578

千代田区神田神保町2-3-3 2F



⑨ 手塚書房

古典芸能や演劇関係の書籍ならこの専門店へ。すずらん通り東京堂書店の裏に位置するこの店では、歌舞伎・能・文楽・邦楽・舞踊・落語などの伝統芸能、および民俗・説話・美術・文学の書籍・CD・DVDを販売している。買い取りも積極的に行うため、直接問い合わせるのがおすすめ。歴史がある分、敷居が高く分かりづらいように思える伝統芸能だが、この店には専門的な研究書だけでなく、歌舞伎・能狂言・落語などをより楽しむための手引きとなる本や、当時の風俗について学べる本も並んでおり、初心者でも充分にその世界を味わうことができる。

03-3294-3338

千代田区神田神保町1-27 阿部ビル1F



⑩ 長島書店 神保町店

考古学や歴史全集に注力する正統派古書店。買い取りも積極的に行っている。店内には『ローマ帝国衰亡史 全11巻』をはじめとする歴史関連の全集がいたるところに積み上げられ、『邪馬台国研究総覧』などの古代史関係の書籍が並ぶ。正統な歴史書・研究書だけでなく、『戦国名将の居城』といった、歴史好きの好奇心をかきたてる本もある。世相風俗から見た歴史にも目を配っているようで、『日本民俗文化体系 全15巻』、といったものまである。哲学・思想書にも力を入れており、法政大学出版局やみすず出版の正統な哲学書や研究書も並んでいる。

03-3512-8115

千代田区神田神保町2-5



⑪ 農業書センター

日本で唯一の農業所専門の書店、「農業書センター」。平成26年(2014)に大手町ビルから移転し、現在の場所へ。農業に関する書籍を約36000冊販売しており、一般書店では入手することの難しい専門書も扱っている。技術書、専門雑誌から料理本や園芸の本まで、店頭に並ぶ本は多岐に渡る。専門家でなくとも十分楽しめる店である一方、マニアックな本も多く、訪れる度に新たな発見がある。スタッフの方に声をかければ、本選びの相談にも快く応じてくれる。店へ続く階段はギャラリーになっていて、そちらもおすすめ。

03-6261-4760

千代田区神田神保町2-15-2 第1富士ビル3階



⑫ 矢口書店

大正7年(1918)創業、昭和3年築の木造3階建て店舗は、古書店街・神田神保町の風景を堂々と特徴づける。「映画・演劇・シナリオ・戯曲」と書いた看板を掲げ、その専門分野で無類の商品量と品ぞろえを誇る古書の老舗、「矢口書店」だ。「新しいものが氾濫するこの時代、昔の写真が見たいと、古いものを遡って欲しがる人が多い」と店主。映画・演劇関係者も数多く訪れる。『月刊シナリオ』『キネマ旬報』など雑誌の既売号も充実。映画ポスター、パンフレットも扱う。寄席演芸専門情報誌『東京かわら版』も販売。

03-3261-5708

千代田区神田神保町2-5-1



選んだスポット



つながるスポット

Copyright(c) NPO 法人連想出版

